

パブリック・コメントの実施結果について

【資料3】

- 募集期間 令和2年9月24日(木)から令和2年10月23日(金)まで
- 募集の主旨 令和3年度を計画始期とする「2011高知市総合計画後期基本計画」(原案)について公表を行い、市民等からのご意見をいただくもの
- 提出状況 提出者：1名、意見等の数：3件

○提出された意見等、それに対する市の考え方

No.	回答部局名	意見の内容	本市の考え方
1	総務部 (政策企画課)	<p>今、世界に混乱を巻き起こしているこのコロナ禍により、人々の生活様式や価値観が大きく変化しつつあり、コロナ禍の終息が見えない中、この変化の動きは、今後さらに大きくなることは間違いないのではないかと思います。</p> <p>持続可能なまちづくりのためには、コロナを前提とした人々の生活様式の変化や経済的なダメージへの対応を見通した具体的な施策も必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>コロナ禍における人々の生活様式や働き方に対する意識も大きく変化してきており、特にあらゆるサービスのリモート化などデジタルシフトの加速化が見込まれる中、今後、都市部から地方での生活への関心も高まると思われます。</p> <p>本総合計画では、このような変化を的確に捉え、市民が多様な生活や幸せを追求できる社会の実現に向け、様々な分野へのデジタル技術の導入促進を図りながら、地域産業の活性化につながるよう地方創生の取組を強化し、持続可能なまちづくりに取り組むこととし、具体的な事業を定めた実施計画において、個別に対応を図ることとしています。</p> <p>また、今般の新型コロナウイルス感染症を含む様々な感染症への対策として、具体的に施策20「地域医療体制と健康危機管理体制の確立」において、高知市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき対応することとし、市民の生活や市民経済への影響を最小限に抑えるよう努めてまいります。</p>
2	総務部 (行政改革推進課)	<p>今回の基本計画はPDC Aサイクルによる進行管理がなされることとなっています。PDC Aサイクルは計画を立て、それを実行し、確認し、結果をフィードバックさせていくという、平時には有効なシステムであると思います。</p> <p>ですが、コロナ禍のような計画には無い、予期せぬ事態が発生した場合、果たしてPDC Aサイクルだけでは十分に機能するのでしょうか。</p> <p>必要に応じて、PDC Aで回す部分、OODAループのように、予期せぬ変化に柔軟に対応できるマネジメント手法により回す部分、といったフレキシブルな対応が行える計画とすることが、計画の実効性を高めるためには必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。</p>	<p>後期基本計画については、総合計画基本構想編で将来の都市像として定める「森・里・海と人の環 自由と創造の共生都市 高知」の実現に向け、地域の将来ビジョンを示すとともに、その実現に向けた指針となるものです。計画期間を10年とする、中・長期的な計画であり、事前に施策のめざすべき姿を明示し、それらの進捗管理のための成果指標を複数設定しています。</p> <p>こうしたことから本計画のような明確な枠組みの中で実効性を確保するためには、PDC Aサイクルによる進行管理が最も適していると考えており、成果指標の達成状況を注視しながら施策の推進と指標見直しに活かしていきたいと考えております。</p> <p>ご意見をいただきました「OODAループ」についてですが、Observe(観察)、Orient(状況判断)、Decide(意思決定)、Act(行動)の4つの行動の頭文字をとったもので、変化の激しい戦場において、誰かの指示を待つのではなく現場の判断で動くことを目的に誕生したものです。</p> <p>OODAループは変化が大きく、現場の状況に合わせて臨機応変に対応する必要があるグループの行動指針としては適切な場合があり、例えば行政機構の変更や職員定数の算定といった場面で活用できると考えております。</p>
3	総務部 (政策企画課)	<p>様々な政策、施策は持続可能なまちづくりや社会的課題の解決にはもちろん必要であることは言うまでもありませんが、優先順位を付けて取り組む必要があると考えます。</p> <p>今後の行政運営の最重要課題は人口問題ではないかと思います。広範囲を網羅した総合計画は人口も経済も右肩上がりの局面では必要な計画であったと思いますが、人口が減少していく局面においては、既存の枠組みにとらわれず、メリハリと、優先順位をつけた上で取り組みを進めないと、行政自体が持たない時が来るのではないかと思います。</p> <p>例えばまち・ひと・しごと創生総合戦略を総合計画に代わるものとして位置づけ、人口減少対策・地方創生を前面に打ち出した取り組みを進めていくような思い切ったことも必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>人口減少問題や少子高齢化社会への対応など本市を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、地域の産業振興と雇用を守りながら、すべての市民が安心して暮らしていける持続可能なまちづくりを目指していかなければなりません。</p> <p>本市においては、人口減少問題克服に向けた取組を着実に推進するため、平成27年に高知市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略を策定し、4つの基本目標に沿って、産業活性化、移住定住の強化、少子化対策、広域連携の推進などに取り組んでいます。</p> <p>一方、総合計画は本市の都市発展の方向性と将来ビジョンを示す計画として、基本的方向性や目指すべき都市像を掲げた行政の羅針盤と呼べる計画であり、「南海トラフ地震対策」と「地方創生の推進」を引き続き最優先課題として、分野横断的、統合的に取り組む「8大エンジン」の推進に合わせ、総合戦略における4つの基本目標の実現と密接に連携するとともに、その他各種行政計画とも連動させながら、施策を展開することとしております。</p> <p>また、PDC Aサイクルをしっかりと回し、事務事業評価や政策施策評価等を通じて、個々の事業について優先順位を意識した取組につなげるとともに、事業の実効性を高め、総合計画を着実に推進するよう、取り組んでまいります。</p>

市議会中間報告でのご意見に対する対応について

No.	回答部局名	意見の内容	対応
1	商工観光部 (観光振興課)	総合計画の中で、特によさこいについては、オリンピックという世界的な注目を集める機会を生かして、世界展開も視野に入れた大きな取り組みという視点と、発祥の地としての歴史的背景も含め、価値を高める視点を入れていただきたいと思います。	ご意見を受けまして、原案を修正いたしました。 ■資料4 施策36 参照